



災害に備える

部長 勝木 茂

二学期がはじまり1か月が過ぎようとしています。季節も少しずつ秋へと変化しているようで徐々に過ごしやすくなってきました。

新型コロナの感染状況はこれまでより若干落ち着いてきていますが、まだまだ油断は出来ないと思っております。保護者の皆様には、引き続き登校前のご家庭での検温をはじめとするお子様の健康観察を十分に行っていただきますようお願いいたします。(最近これまでより健康観察を忘れてくるご家庭が増えています。朝の登校時は全ての職員が大変忙しく、保護者に代わって検温等の健康観察を行うことが大きな負担となります。ご協力のほどお願いいたします。)

さて、すでにお知らせいたしましたように、10月6日(木)・7日(金)に3年ぶり(1年生～3年生にとっては初めて)の「学習発表会」を開催いたします。初等部の子どもたちは、現在、それぞれの学年の発表に向けて意欲的に取り組んでいるところです。



[松本講堂での練習 一年生]

「学習発表会」は教育課程の中では「文化的行事」に位置づけられています。その「ねらい」は、『児童が学校生活を楽しく豊かなものにするため、互いに努力を認めながら協力して、美しいもの、よりよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他のよさを見付け合う喜びを感得するとともに、自己の成長を振り返り、自己の良さを伸ばそう

とする意欲をもつことができるようにする。また、多様な文化や芸術に親しみ、美しいものや優れたものに触れることによって豊かな情操を育てる。』ということです。※『』内、文部科学省小学校学習指導要領解説 特別活動編より引用

子どもたちが、学習発表会当日のみならず、その過程の中でもそれらの「ねらい」を実現できるように初等部全体で指導していきたいと考えております。

先週、台風14号が日本列島を縦断し、また15号も接近し、各地に大きな被害をもたらしました。暴風や大雨による土砂災害、川の氾濫、高潮・・・、テレビ映像を通して、崖崩れ、家屋の倒壊、浸水被害等の状況を目の当たりにするとき、いっどこにいてもこういった災害は発生しうるということを改めて感じました。今年も、大雨の被害も多く、8月上旬には、東北、北陸地方で繰り返し線状降水帯が発生し、大雨(もはやこれまでの大雨のイメージをはるかに超えている)が続きました。わたしは、たまたま8月上旬北陸地方にいて、そのいつ止むのか分からない豪雨の継続に遭遇しました。JRや高速道路が不通となり、何日かは不安な日々を過ごしました。幸いわたしは無事でしたが、それほど離れていない場所でも、大きな被害がありました。

防災リテラシーという言葉があります。「災害発生時に、自分で考え、正しい判断・行動ができる力」「災害を乗り越えるため、他者と助け合い困難に立ち向かう力」などです。特に、小学校段階においては、日頃より家族で繰り返し話し合い確認するなど、防災リテラシーを高めておくことが不可欠と考えます。

「家族と離れている時に地震にあったらどうしたらよいのか」「一人である時に停電になったらどうするのか」「電話が使えず連絡できない時にはどうしたらよいのか」「交通機関がストップしている時にはどうしたらよいのか」「いざという時にどこに避難したらよいのか」などについて具体的に繰り返し話し合っておくことが大切になるのだと思います。